

あらかじ 『予め・防ぐ』

きたがわ ゆうき
寝屋川消防署 予防課 消防士長 北川 祐輝(28)

《業務内容》

火災を未然に防ぐ、また万が一発生した火災の被害を最小限に抑えることを目的として活動している部署が予防課です。消防の仕事といえば災害現場で活動するイメージを持たれる方が多いと思いますが、予防課は災害現場には基本的に行きません。しかし、市民の生命・身体・財産を守るという観点では予防課も同じであり、「火災を予め防ぐ」ことで市民の方々の安心・安全の構築に寄与しています。皆さんが普段利用されるスーパーや飲食店等に設置している消火器や火災の発生を周りに知らせる自動火災報知設備といった消防用設備は、予防課が消防法に基づいた上で、建物を利用する方の安全確保のため、適切に使用できるように設置場所等を考慮した指導を行っています。そして設置後は適切な維持管理ができているかを確認し、建物の安全を保つための指導を行っています。

このように予防課では、1つの建物に対して、建設前の設計段階から建設が完了するまでの間、その建物に必要な消防用設備の設置に係る指導を最後まで責任を持って行います。この期間中は、建物の関係者の方と幾度も打ち合わせを実施し、指導を継続することになります。火災予防の観点から安全な建物づくりを担うことは、ときには大変なこともあります。それだけに私が担当した建物が完成した際には大きな達成感が得られます。



《仕事に対するやりがい》

火災件数は年々減少傾向にあり、統計として数値化され目に見える成果として現れています。これは、防火意識の向上や建築・消防用設備における技術の発展等により「火災を予め防ぐ力」が向上しているからです。より高い水準の安心・安全を構築するため、職員間で知

識や経験を出し合い、事業所や市民の方々と協力し合うことで、昨今の多種多様な災害にも立ち向かうことができます。

火災件数を1件でも減少させるため、私は災害現場活動を通じて培った知識、経験を防火指導に活かし、火災予防の重要性を強く訴えるようにしています。この取り組みが実を結び、市民の方々の防火意識の向上に繋がることが実感できたとき、私は予防課としての仕事のやりがいを強く感じています。

